

## 実践報告

# 札幌市立手稲宮丘小学校

### (1) 研究内容

研究課題：「4年生社会における人権感覚を育む学習の在り方」

◆ 研究課題を通して育てたい力 ◆

- ・ 人々が大切にしている文化の多様性を尊重する態度
- ・ 正しい人権感覚を支える基礎的な知識と特色の理解

### (2) 実践の内容

【実践①】マユニタラモシリ札幌トンコリ保存会の方々との交流活動について

#### ○ ねらい

アイヌの人たちの昔の生活や文化に関心をもち、伝え広めようとする人たちと意欲的に交流する活動を通して、文化の多様性を尊重する態度を身に付ける。

#### ○ 学習内容

平成 27 年 8 月 26 日(水)、本校体育館にて、マユニタラモシリ札幌トンコリ保存会から 8 名の方々をお招きし、4 年生(102 名)との交流活動を行った。

- ・ 多原 良子 氏によるアイヌ民族の歴史や文化についての講話
- ・ 保存会の方々によるトンコリ(アイヌ伝統の弦楽器)やムックリの演奏
- ・ 保存会の方々によるアイヌの古式舞踊などの演舞
- ・ 保存会の方々にご指導いただき、児童による古式舞踊などの体験活動
- ・ 保存会の方々との交流活動(学級ごと、質問コーナーなど)



会場には、児童が製作した「イランカラブテ」の横断幕(アイヌ文様の飾り付き)があり、保存会の方々をお迎えする雰囲気が高まっていた。

トンコリやムックリの演奏では、多くの子どもが初めて聴く経験となったものの、耳を澄ましてその音色に浸る様子が見られた。

また、質問コーナーでは、子どもから特に保存会の方々の民族衣装のことや、楽器の仕組みなどが話題に上がった。

## 【実践②】絵が語るふるさと～北海道の歴史～の視聴活動について

### ○ ねらい

アイヌの人たちの昔の生活や文化について調べる活動を通して、基礎的な知識を得るとともに、生活や文化の特色を理解できる。

### ○ 学習内容

平成27年9月29日(火)、本校視聴覚室にて、NHK札幌放送局等から5名の方々をお招きし、4年生(103名)を対象としたDVD視聴活動を実施した。

- ・ 本校教員によるクナシリ・メナシの戦い以前の北海道の様子についての講話
- ・ NHK札幌放送局制作のDVD「絵が語るふるさと～北海道の歴史～」の視聴  
＜内容＞ 絵画「夷酋列像」の作者である松前藩家老・蠣崎波響のエピソードを中心に、当時のアイヌの様子を忠実に描いた12枚の絵の紹介で構成された映像(20分程度)

4年生にとっては、若干難しい史実を含む内容であったが、映像の巧みさが内容の理解を助け、アイヌの生活や文化に関する知識を得ることができた。

## (3) 研究のまとめ

### ① 成果

- ・ 保存会の方々による講話や演奏などを実際に見たり聴いたりする活動は、写真や動画などといった具体的資料を用いた学習よりも、児童の心に訴える要素が強く、アイヌ文化の多様性を共感的に捉える効果がより高まった。
- ・ 4年生の発達の段階を考えると、今回のような体験的活動に没頭できるよさと、様々な知識を統合して対象を価値付けしようとすることができるよさを併せもつ特性が生かせる内容であった。



### ② 課題

- ・ 保存会の方々とは、事前に運営上の打合せをもったが、できれば内容的なところまで踏み込んだ打合せとすることで、体験的活動の価値を一層、高めることができたと考えられる。

### ③ 提言「人権教育のすすめ」

- ・ 人権教育の第一歩は、まず取り組んでみることに。そして、あらゆる機会を生かして継続すること。子どもの人権感覚が高まると、次の取組が見えてくる。